

# 「現代女性の美しさへの意識」調査Ⅲ ～女性の美容行動について～

## ① 美容法・化粧品の試用経験状況

「サプリメント」は64%、「エステ」は45%が試用しており女性に浸透  
「アンチエイジング化粧品」は20代後半以降が多く試用  
一方、「プチ整形」「美容整形」の経験は3%未満にとどまる

## ② 効果があると思われる美容法・化粧品

「アンチエイジング化粧品」「サプリメント」は  
試用者の多く(6割以上)がその効果を実感している

## ③ エステ利用頻度

女性の約半数がエステへ行ったことがあり、  
半年に1回以上の利用者は約2割に達している

## ④ 美容施術の経験と意向

美容施術の経験は低いものの  
ある程度の施術意向は抱かれており、  
約3割が「レーザー光線」の施術を受けてみたいと思っている

### 【調査概要】

調査時期: 2006年11月

調査方法: インターネット調査

調査対象: 東京23区および政令指定都市(※1)に居住する 20～59歳の女性 2500人  
(20～24歳: 283人、25～29歳: 324人、30～34歳: 380人、35～39歳: 338人、  
40～44歳: 295人、45～49歳: 257人、50～54歳: 280人、55～59歳: 343人(※2))

※1 政令指定都市: 札幌市, 仙台市, さいたま市, 千葉市, 横浜市, 川崎市, 静岡市, 名古屋市, 京都市, 大阪市, 堺市, 神戸市, 広島市, 北九州市, 福岡市

※2 「平成17年国勢調査」から対象者居住地域の人口構成比にもとづいて年齢5歳単位で割付

2007年 5月1日

# ①美容法・化粧品の試用経験状況

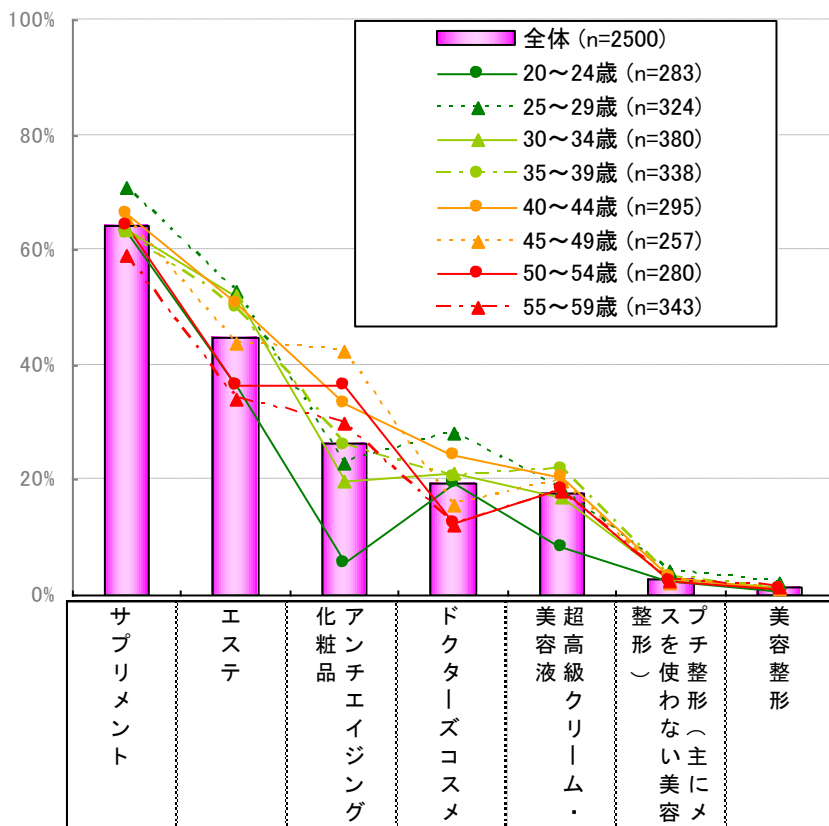
「サプリメント」は64%、「エステ」は45%が試用しており女性に浸透  
 「アンチエイジング化粧品」は20代後半以降が多く試用  
 一方、「プチ整形」「美容整形」の経験は3%未満にとどまる

## 女性はある美容法・化粧品を試したことがある？

女性の美容法・化粧品の試用状況(経験)をみると、「サプリメント」は全体の64%、「エステ」は45%が試したことがあり、多くの人が経験している美容法(浸透している美容法)といえる。一方、医療行為でもある「プチ整形(主にメスを使わない美容整形)」「美容整形」の試用率は3%未満とわずかである。

年代別にみると、「サプリメント」は各年代とも試用率が高い。「エステ」は20代後半を頂点に、若年層ほど試用経験が多い。また、「アンチエイジング化粧品」は20代前半の試用率は低いものの、20代後半以上の試用が多く、特に40代以上では全体平均を超える試用率となっている。

【図表1 試したことのある美容法・化粧品(いくつでも) 基数:全体】



	サ プ リ メ ン ト	エ ス テ	化 粧 品 ア ン チ エ イ ジ ン グ	ド ク タ ー ズ コ ス メ	美 容 高 級 ク リ ー ム ・ 超 液	整 形 ( メ ス を 使 わ な い 主 に 美 容 )	プ チ 整 形 ( 主 に メ ス を 使 わ な い 美 容 )	美 容 整 形
全体 (n=2500)	64.4	44.9	26.6	19.4	17.9	2.8	1.2	
20~24歳 (n=283)	63.3	36.4	5.7	19.4	8.5	2.5	0.7	
25~29歳 (n=324)	70.7	52.8	22.8	28.1	18.5	4.3	2.2	
30~34歳 (n=380)	63.4	52.1	19.7	21.1	16.8	2.6	1.3	
35~39歳 (n=338)	62.7	50.0	26.0	20.4	21.9	3.0	0.9	
40~44歳 (n=295)	66.4	50.8	33.2	24.4	20.3	3.1	1.0	
45~49歳 (n=257)	65.8	43.6	42.4	15.6	19.8	1.9	1.2	
50~54歳 (n=280)	64.3	36.4	36.4	12.5	18.6	2.5	1.1	
55~59歳 (n=343)	59.2	34.1	29.7	12.2	18.1	2.3	1.5	
とても重要である (n=814)	74.3	57.6	37.7	27.4	28.6	4.7	2.7	
やや重要である (n=1212)	65.6	44.3	24.6	18.2	14.5	2.4	0.6	
どちらともいえない (n=367)	46.6	24.5	14.2	9.8	7.6	0.8	0.3	
あまり+全く重要ではない (n=107)	35.5	24.3	6.5	3.7	9.3	0.0	0.9	

年代別  
現在の「きれいな女性」重要度別

## ②効果を感じている美容法・化粧品

「アンチエイジング化粧品」「サプリメント」は  
試用者の多く(6割以上)がその効果を実感している

### 美容法・化粧品の効果はあると感じられている？

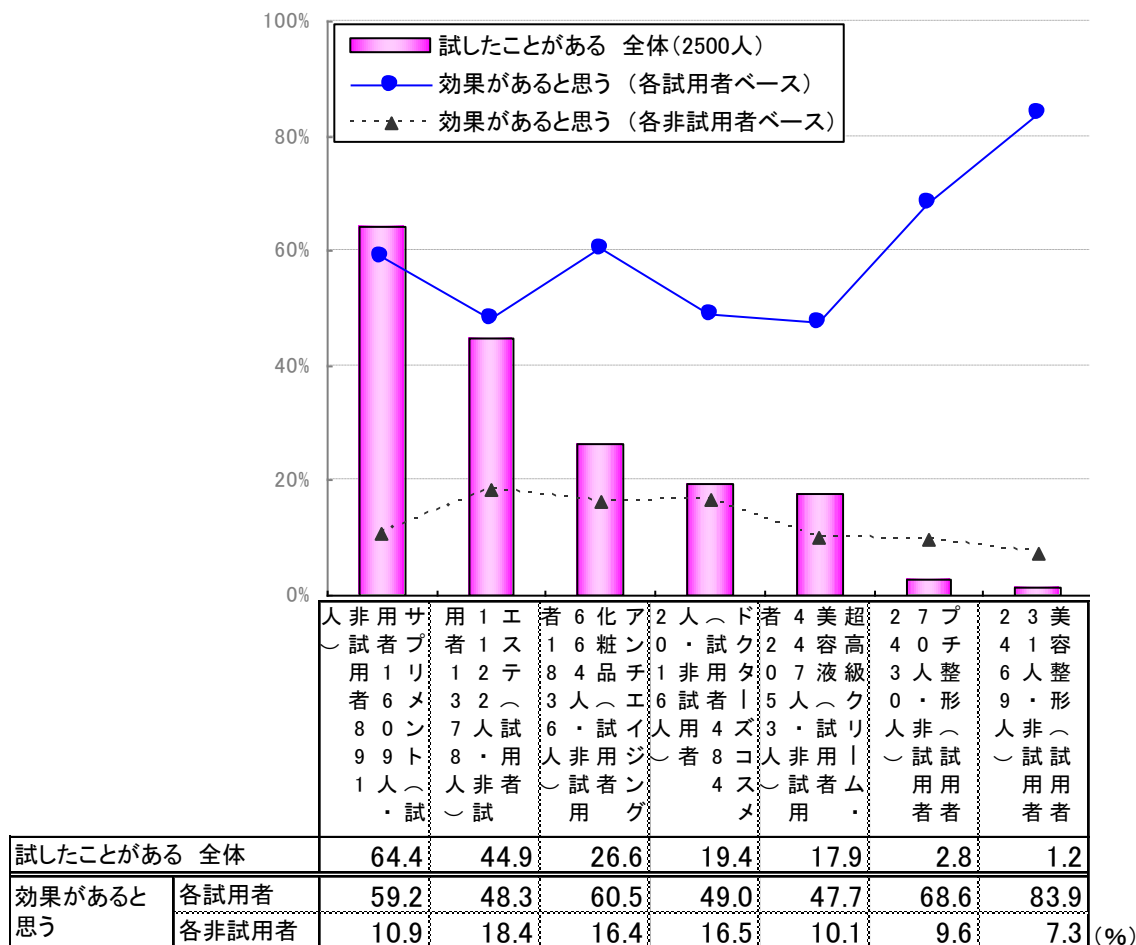
各美容法・化粧品の試用経験別に、効果があると思うかどうかを尋ねた。

非試用者と比べ、試用者(試したことがある人)の多くが、試用した美容法・化粧品は効果があると評価している。特に、「サプリメント」では試用者の64%、「アンチエイジング化粧品」では61%が評価しており、多くの女性が効果を実感している。

「アンチエイジング化粧品」の試用者は全体の27%にとどまる状況であるが、試用者の多くが効果を感じていることを鑑みると、今後の使用増・リピート使用増が予想される。

また、試用者数は僅少であるが、「美容整形」「プチ整形」の試用者の多くがその効果を認めている。

【図表2 試したことがある/効果があると思う美容法・化粧品(いくつでも) 基数:全体/各試用経験】



### ③エステ利用頻度

女性の約半数がエステへ行ったことがあり、  
半年に1回以上の利用者は約2割に達している

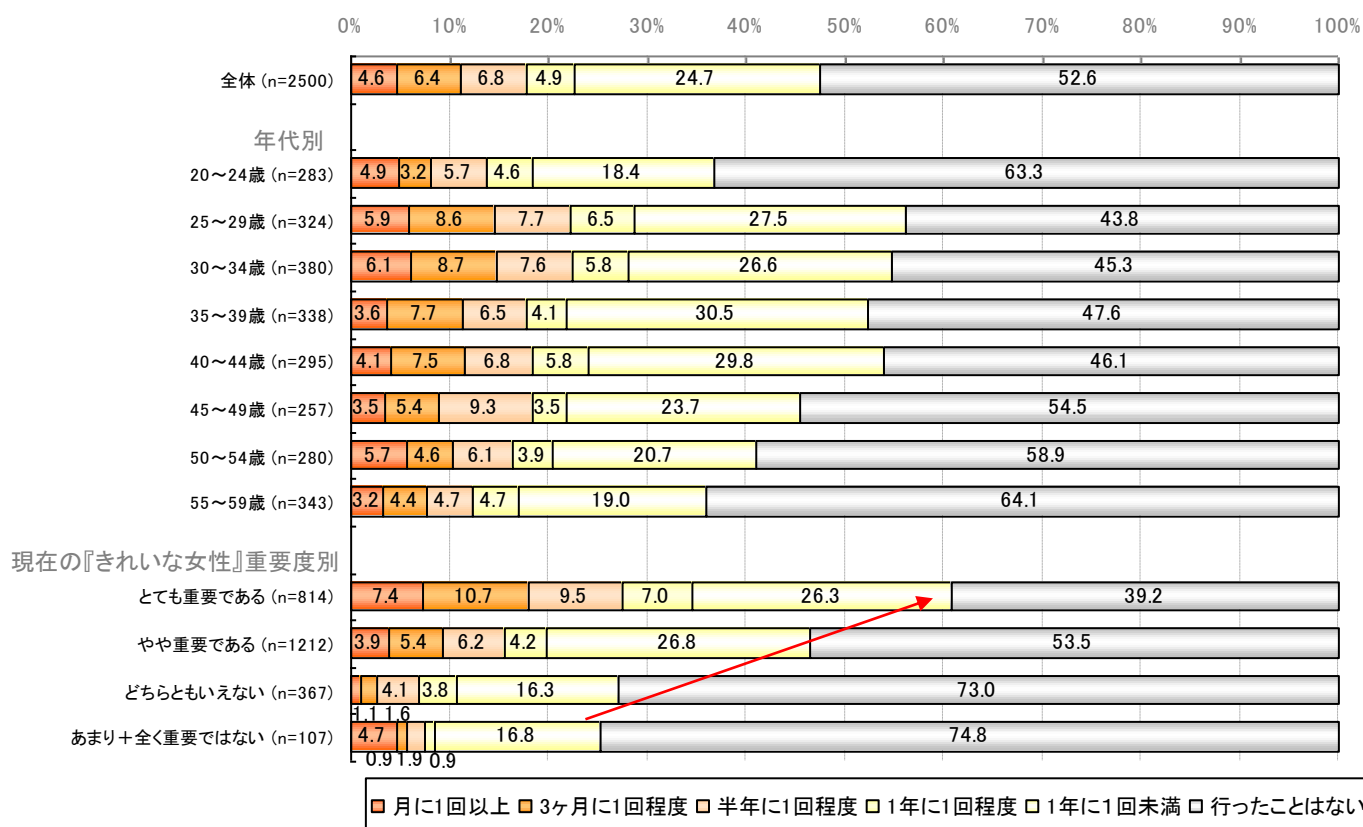
#### 女性はエステへの程度行ったことがある？

エステの利用経験(行ったことがある人)は、全体の47%を占め、半年に1回以上のエステ利用者は18%に達している。

年代別にみると、20代後半～40代前半のエステの利用経験は5割以上と高い(20代前半は利用経験が低い状況は、可処分所得が低いとみられる学生が20代前半に多く含まれることが要因のひとつと推定)。

また、『きれいな女性』でいることが重要である人ほど、エステの利用頻度が高くなっており、とても重要である人の約2割が3ヶ月に1回程度エステへ行っている。

【図表3 エステ利用頻度(1つだけ) 基数:全体】



## ④美容施術の経験と意向

美容施術の経験は低いものの  
ある程度の施術意向は抱かれており、  
約3割が「レーザー光線」の施術を受けてみたいと思っている

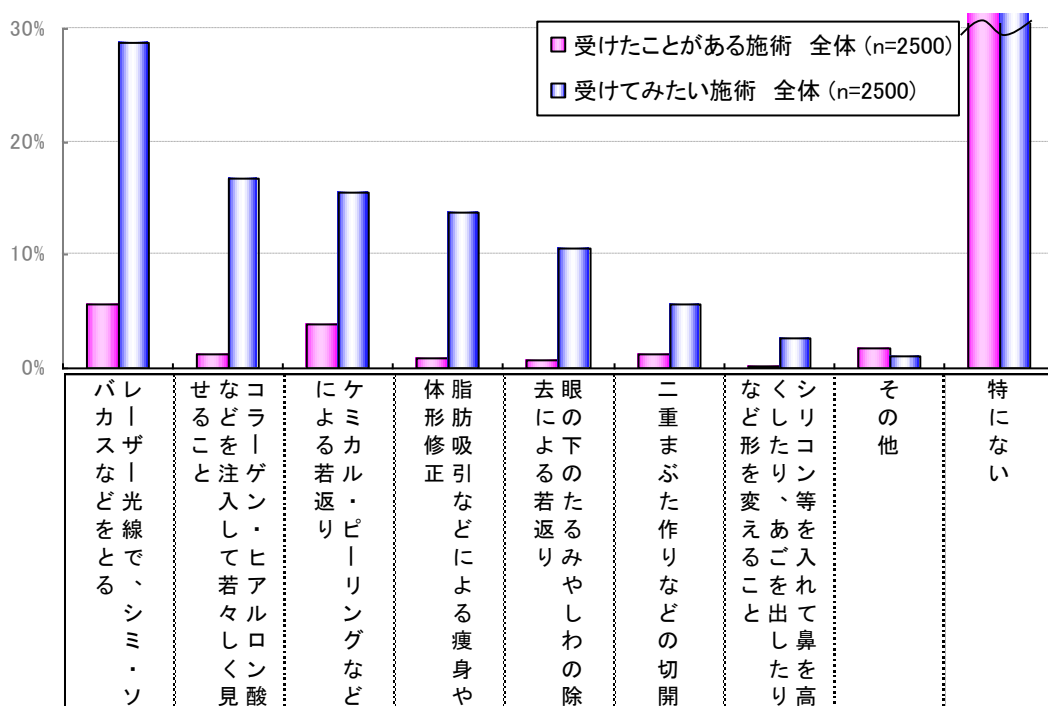
### 受けたことのある美容施術と受けてみたい美容施術は？

美容施術(「レーザー光線でシミ・ソバカスなどをとる」「コラーゲン・ヒアルロン酸など注入」「ケミカル・ピーリング」「脂肪吸引など」「たるみ・しわの除去」「二重まぶた作りなどの切開」「シリコンなど」)の経験は総じて低く、最も経験の多い「レーザー光線」においても6%にとどまる。全体の87%が「特になし」と答えており、未経験者が多い。

一方、施術意向をみると「レーザー光線」は29%、「コラーゲン・ヒアルロン酸など」は17%のスコアを獲得しており、ある程度の施術意向は抱かれているようである。

年代別に施術意向をみると、年代による大きな差はみられないものの、「レーザー光線」は20代前半でやや少なく、「たるみ・しわの除去」は40代後半以降でやや多い。

【図表4 受けたことがある/受けてみたい美容施術(いくつでも) 基数:全体】



受けたことがある施術 全体		5.7	1.3	3.9	0.9	0.6	1.3	0.2	1.7	87.4
受けてみたい施術	全体	28.8	16.7	15.5	13.7	10.6	5.7	2.6	1.1	50.6
	20~24歳 (n=283)	19.4	11.3	13.4	17.0	3.2	14.1	3.9	2.1	53.0
	25~29歳 (n=324)	28.7	19.4	22.5	15.7	5.2	8.3	4.0	1.5	46.9
	30~34歳 (n=380)	33.2	15.0	17.1	15.3	7.6	6.3	1.6	0.8	48.9
	35~39歳 (n=338)	32.8	16.3	16.3	12.4	5.9	4.1	1.8	1.2	52.4
	40~44歳 (n=295)	38.0	18.6	16.9	15.9	12.5	4.7	3.4	0.7	43.1
	45~49歳 (n=257)	30.4	19.5	17.1	10.9	16.7	2.3	1.6	0.8	49.4
	50~54歳 (n=280)	22.9	21.8	12.5	14.3	18.6	3.9	3.6	1.1	51.1
55~59歳 (n=343)	23.6	12.8	8.2	8.2	16.6	1.7	1.7	0.6	59.5	

※禁無断転載・複製